

## 会派研修会実施報告書

会派研修の結果について、下記のとおり報告します。

令和3年5月10日

光市議会議長 中本 和行 様

光市議会会派 「かいこう」

代表者 木村 信秀

議員名 森戸 芳史


議員名 小林 隆司

議員名 早稲田 真弓

### 記

- 1 研修日時 令和3年4月21日（水） 10:00～12:00
- 2 研修場所 光市議会第2委員会室
- 3 研修内容 「しゅうなん若者サポートステーションについて」
- 4 研修結果 別紙のとおり

## 研修結果

日 時	令和3年4月21日（水）10：00～12：00	
場 所	光市議会第2委員会室	
講 師	しゅうなん若者サポートステーション 総括コーディネーター 福岡敬子	
テーマ	「しゅうなん若者サポートステーション」 事業について	

### <研修の目的>

「しゅうなん若者サポートステーション」の存在は知っているものの、詳細については把握していなかったため、その変遷や事業内容等について現場の総括に現状を伺いました。若者の自立や就職支援のサポート体制について参考にし、審議に活かすことを目的に政務活動費を活用し研修会を開催しました。

### <研修概要>

#### 【地域若者サポートステーションの定義】

働くことに踏み出したい15歳から49歳までの現在、お仕事をされていない方や就学中でない方たちとじっくり向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働きます力」を引き出し、「職場定着するまで」を全面的にバックアップする厚生労働者委託の支援機関で平成20年6月に開所され現在に至ります。

#### 【対象地域】

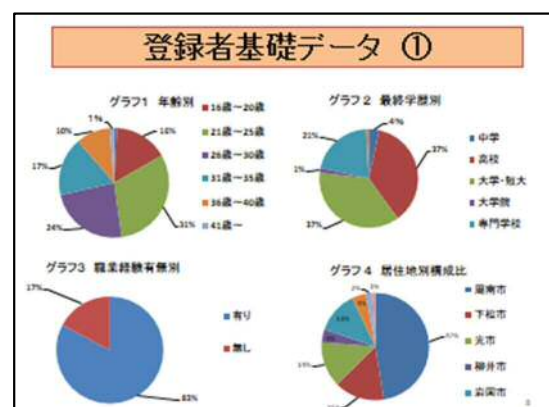
周南市・下松市・岩国市・光市・柳井市・周防大島町・和木町・上関町・田布施町・平生町（5市5町）

#### 【相談窓口】（実施日要確認）

事務所—周南市徳山港町1番1号  
出張相談—柳井市中央公民館  
岩国中央公民館・  
あいぱーく光（年2回）

#### 【令和2年度 実績】

- ・相談件数 1,712件
- ・登録者数 92名
- ・就職決定者数 75名



## 【支援内容】

- ① 相談支援事業（キャリアコンサルタント・公認心理師による専門的相談）
- ② 各種支援プログラム（コミュニケーション・メンタルヘルス・ボランティア等）
- ③ アウトリーチプログラム（高校中退者・40代無業者への支援）
- ④ 職場体験プログラム（現在58カ所登録事業所）
- ⑤ 定着・ステップアッププログラム（職場定着・キャリアアップ支援）

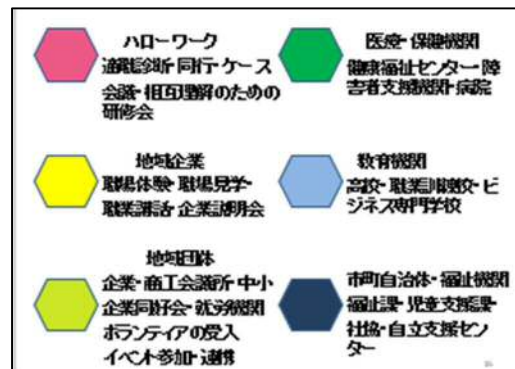
## 【支援体制】

- ・キャリアコンサルタント（3名）
- ・公認心理士（3名）
- ・情報監理員（1名）
- ・職場体験担当相談員（1名）

## 【来所者の多く見られる意見】

- ・不安が強くて、働くことがこわい
- ・職場の人間関係でいつもつまづく
- ・どんな仕事に向いているのかわからない
- ・仕事が長続きしない、ブランクが長くて悩んでいる
- ・子どもが働かない、どうすればいいのか

## ネットワークとの連携



## <質疑応答>

Q：一度引きこもりを始めると社会復帰が難しい傾向があることを踏まえ、高校中退後速やかにフォローしているとのことだが、どのように個人情報収集しているのか？

A：周南近隣の高校と緊密に連携して情報を入手し、個々人の事情を勘案したうえで、家庭訪問をはじめとする、きめ細かな対応を行なっている。

Q：職場見学・体験の開催頻度は？また、コロナの影響はあったのか？

A：頻度は、月1回程度である。コロナの影響により、一部職場見学が中止となった。

Q：コロナ禍でオンラインによるキャリア講座開催への見解は？

A：オンラインによるキャリア講座を開催したが、受講者の増加にはつながらなかった。また、参加者からは、Face to Faceでの開催を望むとの声を頂いている。

## <所感と市政への反映>

今回の研修を通じて、「しゅうなんサポステ」が一人ひとりの課題に向き合い、様々な支援を行なっていることへの理解が進みました。地域で若者を育て、元気に働く人を増やすため、どのような支援が必要なのか、するべきなのかを考え、今後の市政に活かしていきたいと思います。

## 地域若者サポートステーションについて

### 1. 地域若者サポートステーションの定義

働くことに踏み出したい15歳から49歳までの現在、お仕事をされていない方や就学中でない方たちとじっくり向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働きだす力」を引き出し、「職場定着するまで」を全面的にバックアップする厚生労働省委託の支援機関です。

※15歳から49歳までの無業者（就労しておらず、家事も通学もしていない者）数の推計約120万人  
（総務省統計局「労働力調査」による）

### 2. サポステ事業の変遷

年度	事業の動向
平成18	モデル事業として、全国25か所で開始
20	しゅうなんサポートステーション開所 全国77か所で開始 ・包括的・継続的支援、関係機関との連携を目指す
22	進路決定率を提示 本体事業の他、高校中退者等アウトリーチ事業が任意事業として始まる
24	全国115か所 高校中退等アウトリーチ事業実施（任意事業として受託）
25	全国160か所 学校連携推進事業必須（25年・26年と2年間で廃止） 「秋のレビュー」により、事業見直しが強調される
27	目標が「就職等進路決定者」から「就職者」へと変更 「就職者」については雇用保険被保険者になり得る就職に限定
29	全国173か所 若年無業者等アウトリーチ支援事業（新規） 職場体験・就職支援事業（新規） 受託者の選定に一般競争入札が導入
30	全国175か所 40代前半の無業者に対するモデル事業（10か所で実施）
令和1	全国177か所 40代前半の無業者に対するモデル事業（12か所で実施）
令和2	全国177か所 全サポステで支援対象者を49歳まで拡大
令和3・4	全国177か所 全サポステで支援対象者を49歳まで拡大